

Lavoro ~ラヴォーロ~



2023
No.004
前橋
刑務所編

刑務作業の御依頼はこちらへ

窓 口	電 話 番 号	主 な 業 種
法務省矯正局	03-3580-8814	
東京矯正管区	048-601-1607	
水戸刑務所	029-273-9796	木工、洋裁、金属、その他
栃木刑務所	0282-27-9611	洋裁、金属、その他
喜連川社会復帰促進センター	028-686-3111	木工、金属、その他
前橋刑務所	027-223-3024	木工、印刷、金属、革工、その他
千葉刑務所	043-232-6079	木工、印刷、洋裁、金属、革工、その他
市原刑務所	0436-36-6001	金属、その他
東日本成人矯正医療センター	042-500-5271	その他
府中刑務所	042-362-2101	木工、印刷、洋裁、金属、革工、その他
横浜刑務所	045-842-0040	木工、印刷、洋裁、金属、革工、その他
横須賀刑務支所	046-842-4983	その他
新潟刑務所	025-286-5626	木工、金属、その他
甲府刑務所	055-241-8878	木工、洋裁、金属、革工、その他
長野刑務所	026-248-1114	洋裁、金属、革工、その他
静岡刑務所	054-261-2886	木工、印刷、洋裁、金属、その他
川越少年刑務所	049-242-0226	木工、金属、その他
松本少年刑務所	0263-32-3093	木工、印刷、洋裁、金属、その他
東京拘置所	03-3690-6681	その他
立川拘置所	042-540-4191	その他

メールでのお問合せ先

Kyosei-sagyou@i.moj.go.jp

- 件 名：刑務作業依頼
- 記載事項：
 ①会社名
 ②住所
 ③連絡先（電話番号、FAX番号、E-Mailアドレス）
 ④担当部署、担当者名（ふりがな）
 ⑤作業内容、希望人員、希望地域など
 ⑥その他要望事項

表紙のLavoro（ラヴォーロ）とは
イタリア語で「働く」という意味
です。

一取材先一
前橋刑務所

一企画・取材・編集一
東京矯正管区成人矯正第三課

一発行一
東京矯正管区

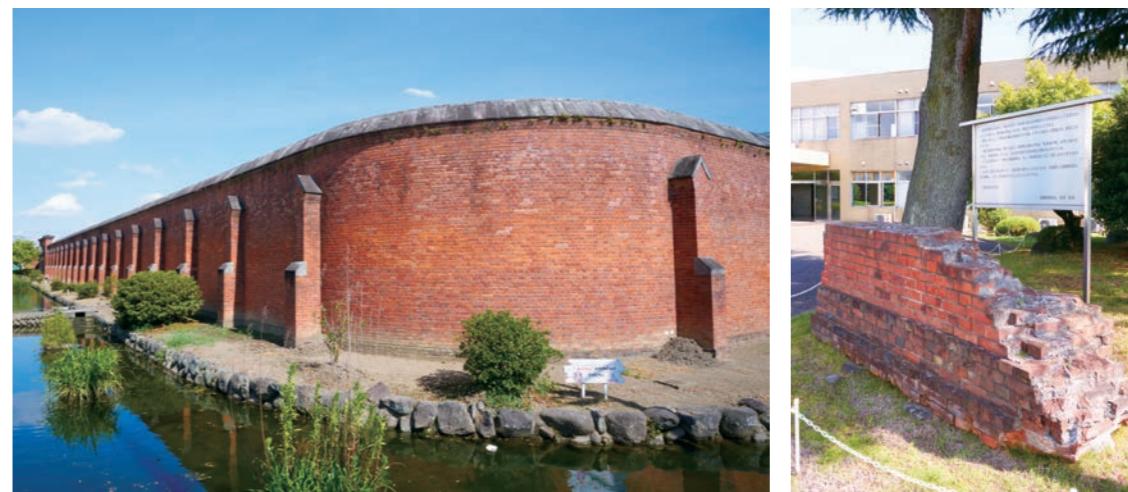
〒 330-9723
さいたま市中央区新都心 2-1
さいたま新都心合同庁舎 2 号館 13 階
【TEL】048-600-1500 【FAX】048-600-1505

本誌のバックナンバーは
こちらから▼





前橋刑務所の外堀及び表門は、
前橋市の景観資産に登録されています。



明治19年に、旧前橋監獄の外堀及び表門として建設され、今も現存する貴重な建造物として、その歴史的価値や希少性が高いことから、前橋市の景観資産に登録されました。重厚感があり、周囲の景観との調和が図られている点が魅力です。

革工作業・作品紹介

生産技術取得訓練では、革工製品の高度な加工技術が身につきます。イタリアンレザー、ブライドルレザーなど様々な種類の革を使用して製品を製作しています。



佐々木 作業専門官

プロフィール

印刷及び革工場の作業指導を担当。印刷作業では、大会のプログラムなど様々な印刷物の依頼があり、製作しています。革工では製品製作の指導だけでなく、受刑者の技術力向上を目的に行われている生産技術取得訓練も担当しています。

作業指導への想い

革工では、小銭入れ、長財布など様々なタイプの革製品を製作していますが、一定の技術が求められます。初めはうまくいかなかった作業者が、忍耐強く作業を続けていくうちに技術や忍耐力を身に着けていく様子を見て、刑務作業が改善更生や社会復帰の一助になるものと感じています。

印刷作業・作品紹介

大会プログラムなど様々な依頼があり、製作しています。当所の外埠及び表門が前橋市の景観資産に登録された際、記念品となる製品として企画・開発した「御来監状」を印刷工場で製作しています。

大会プログラムなど様々な依頼があり、製作しています。



木工作業・作品紹介

木工作業では、原材料の加工、組み立て、仕上げまで行っています。つみき、ごみ箱のほか、様々な木工製品を製作しています。

生産技術取得訓練では、木工製品の高度な加工技術が身につきます。



木工作業工場内部。各種機械でぎっしり。



桐材を使用し、軽量で蓋によってごみ箱の縁が見えない、見た目にもおしゃれなごみ箱です。



岩佐 作業専門官

プロフィール

大学卒業後、約9年間に渡り民間の総合住宅資材メーカーで勤務し、平成18年に法務技官作業専門官に転職。以来、前橋刑務所木工工場において、企画や作業指導、安全管理及び受刑者の技術力向上を目的に行われている生産技術取得訓練も担当しています。

作業指導への想い

形や性質、表面の木目など1本として同じものがない自然素材の木材。様々な切削加工が簡単に出来、色々のものを作ることができる木材の良さ、特徴を活かしながら、各班が協力して日々木製品を製作しています。時には毎日加工していく中、反り、曲がり、割れ、節などの木材特有の欠点などで上手くいかない事や、不良品になることもあります。難しさもありますがよく見て、考えて加工し、うまく組み立てることにより、温かみのある木製品に仕上がります。製品を作るということは、自分の作品ではなく、顧客が望む製品でなければなりません。妥協せず、一つ一つ丁寧に製作することを指導しています。木材同様、社会に出ても十人十色。様々な人がいて、一人として同じ人がいない。うまく協力しながら働き、生活しなければいけません。木製品の「ものづくり」を通して、木工機械や手工具の使い方はもちろんですが、何か出所後に役立つものを学び、感じて、社会復帰につながれば良いと日々思っています。

展示場

前橋刑務所 表門の向かいに付設されている刑務所作業製品展示場では、本誌でご紹介した前橋刑務所で製作している製品のほか、全国の刑務所で製作している様々な製品を取り揃えています。



展示場内部の様子。全国の矯正作業製品が販売されています。



人気のマル獄製品も取り扱っています。

お問合せ先

前橋刑務所 刑務所作業製品展示場

〒371-0805 群馬県前橋市南町1丁目3-21

開場時間：平日／10時～16時

(棚卸等により、臨時に閉場している場合がありますので、お問合せください)

TEL: 027-223-3024(企画部門(作業)直通)

全国の刑務所作業製品は、インターネット販売サイト「e-shop」からもお求めいただけます。



編集後記

本誌をお読みいただきまして、ありがとうございます。

コロナ禍から日常の生活に戻っていき、当所でも刑務作業や矯正展・即売会の実施について、平時に戻りつつあります。ぜひ、当所で製作している刑務所作業製品を手に取っていただき、品質の高さをご覧ください。本誌も刑務作業及び刑務作業製品を知つていただきかけになれれば幸いです。



前橋監獄
令和五年八月吉日

社会福祉貢献活動

社会貢献作業とは、「社会に貢献していることを受刑者が実感できる刑務作業」です。当所では、高齢者施設で実際に使用している車椅子をお預かりし、受刑者が清掃を行っています。作業を行う前に、指導として「皆さんにきれいにしてくれた車椅子は、再び施設に戻されて入所されている方が使用します。そしてそのことについては感謝されています。」と伝えると、一生懸命に作業を行います。見返りを求めずに作業に取り組み姿を見て、この社会貢献作業が受刑者の社会復帰の一助になればと願っています。

